

平成二十九年 度 入 学 試 験 問 題 (三次)

国 語

(時間 五十分)

〔注意事項〕

- 一 試験開始の合図まで開けてはいけません。
- 二 受験番号・氏名を解答用紙に記入しなさい。
- 三 試験問題は五題あります。印刷がはつきりしなかったり、問題がぬけていたりした場合は申し出なさい。
- 四 解答は解答用紙に記入しなさい。
- 五 解答用紙だけを提出しなさい。

— 次の——線部の漢字の読み方をひらがなで答えなさい。

- 1 日本人にわかりやすく意識する。
- 2 母が旅費を工面する。
- 3 やむを得ない事由で休む。
- 4 この店は毎日朝早くから商う。
- 5 専ら研究に打ちこむ。

— 次の——線部のカタカナを漢字に直して答えなさい。

- 1 ショウボウショから出動する。
- 2 ユウシュウの美をかざる。
- 3 新しいナイカクが発足する。
- 4 大役をウケタマワる。
- 5 会議の司会をツトめる。

三 略

四 略

五

次の作文の中にある——線部1～5について、表現やことばづかいが正しいかどうかをたしかめ、正しいものには○、正しくないものには×でそれぞれ答えなさい。

清里での林間学校はとても充実^{じゅうじつ}した三日間となりました。その中で最も楽しかったことは二日目の山登りです。¹前日が大雨だったので、おそらく山登りは中止だろうかと皆で話していました。ところが、二日目の朝目を覚ますと、窓の外には雲一つない青空が広がっていました。²このときほくが思ったことは、やっぱり神様はほくたちに味方してくれたんだと感じました。

こうして始まった山登りですが、時間が経^たつにつれて「疲れた。」「もう帰りたい。」などと弱音を吐^はく友だちもでてきました。そんなとき、学級委員の山ノ内君が「苦しいときこそ前向きなことを言いあおうよ。そうすれば、きっと気持ちも明るくなる。」と的を射たことを言いました。³すると、それを聞いていた鎌倉先生も「全く同感だ。⁴みんなで泣き言を言っている、何もいいことはないだろう。」とおっしゃいました。それがきっかけとなってみんなの表情には明るさが戻^{もど}り、最終的に全員で登頂することができました。

さらにうれしかったことは、頂上にある山小屋の店員さんからかき氷をいただいたことです。⁵特製のモモのシロップがかかったかき氷を、なんとクラス全員分用意してくださいました。このときのかき氷のおいしさと山頂から見た絶景は、きつといつまでも忘れないと思います。